

山桜の里 戸赤



作業路を開設する森林組合

山を 活かす。

森林経営計画で
きのこ・原木生産

赤土共有と森林組合

地区内の森林からは放射線セシウムが林野庁で定めた基準値を超えなかった条件のもとに、赤土共有者は森林経営計画に基づく補助事業により雑木林をきのこ原木等に利用することになりました。森林経営計画は赤土の炭窯付近を含む共有林約230鈔を対象に森林組合と森林所有者が



50%抜き切りできる「原木生産を計画（プロット調査による材積推計）」

年間山の経営・整備・管理に関する目標と考え方もこの計画には述べられていません。森林経営計画を作成しない場合には、民間での森林活用に対しては一切の補助金制度が該当しないため、この計画に里山一帯をできるだけ広く取り込み補助事業を導入し山の活用を

あけおめでとうございます

歳の神に集まり墨をぬって「願！無病息災」(戸赤)
(炎の写真は赤土)

合と森林所有者が5年間の契約により、主に人工林の間伐と搬出、広葉樹の利活用を行い、係る費用は間伐材を森林組合が引き取ること等により地元の負担なしで行われます。また今後40



寒風が生みだした郷土食づくり

凍み大根

冬の風物詩

農業・農村体験 受け入れ説明会
日時1月24日(木) 10時~11時
戸赤集会所
主催・南会津農林事務所企画部

図ることになりました。手始めに24・25年度で10鈔から50%の抜き切り方式によりシイタケ原木1万本とマイタケ原木の生産に着手しました。年明け早々の現地調査に基づく材積推計により、森林組合と赤土共有者が合意に達し事業が推進されています。

【木地の学習No.27】近世後期の木地小屋 後期は天明元(1781)年から慶応三(1876)年までの八六年間としこの間に存在した木地小屋を一覧表にしたのが表4(この機関紙では省略)である。後期は木地小屋の存亡を左右するほどの天明、天保の二大釘鐘に見舞われた時でもある。この時期の特徴は木地材の潤滑に伴って単独あるいは二戸三戸といったように小集団化してゆくことと、存在期間が短くなって頻繁に「飛」を繰り返すことである。文化六(1809)年完成になる会津藩の地誌『新編会津風土記』は享和三(1803)年、文化三(1806)年に各村に提出させた「地誌書上」を基にして作成したものである。『新編会津風土記』記載の木地小屋と蛭谷、君ヶ畑の文書とを対比してみると所在地がほぼ一致する。…明治以降の木地小屋 明治という時代は社会生活や文化経済等が一変した時であり、木地師達にとっても一大転換を迎える時であった。土地所有者を明確化するため全国で地籍図、地籍帳の作成が行われるがこれによって土地所有に関して無縁の徒であった木地師達は山から締め出されることになる。(会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より) (つづく)

花豆パイ

丸ごとはいった豆に興味しんしん
東京で販売とアンケート

花豆栽培講習会

花豆パイは東京丸の内で開催された物産展に出品され、販売とアンケート調査が行われ、結果の報告がありました。

県テクノアカデミー



B 学生より
1. 私たちが感じたこと、課題
<感じたこと>
① 花豆が丸ごと入っている事でお客様からとても興味を持っていただけました。
② パッケージが可愛らしくそして分かりやすく若い女性が足を止めて手に取る機会が多かったです。
2. 工夫した点
・POPに花豆がまるまる1個入っている事を書き、花豆の絵も描いた
→花豆が丸まる1個入っていることを書く事で分かりやすく手に取ってもらえたいという事で購入して頂いた
・レイアウト
→おしゃれなバスケットに花豆パイをお客様に見えやすいように並べた
→お菓子コーナーを作って貰った
3. 結果と提案
試食はありませんでしたが、花豆パイという楽しさに購入して下さいましたお客様や、ばら売り販売したので、手に取りやすい、買いやすいという声をいただきました。
また、透明な袋で中身が見えるのでどういうものか分かりやすく良かったという事やオフィス街で自分用に買いやすく、差し入れにも買っていきやすいという理由から売れたと考えました。
花豆が珍しいということをもっとPRすると花豆の希少価値が上がるのではないかと考えました。

地域活性化事業として塩川町にある県のテクノアカデミー観光プロデューサーの2年生

A アンケート結果 (回答者3名)

1. 回答者属性

| | | |
|----|-----------|------------|
| 性別 | 男性 2人 | 女性 1人 |
| 年代 | 30~40代 1人 | 50代~60代 2人 |

2. 各設問結果

| | | | | | |
|------------------------|-------------------|--------|--------|-------|---------|
| Q1 パッケージ・ネーミングはいかがですか? | 大変良い 10% | 良い 33% | 普通 57% | 悪い 0% | 大変悪い 0% |
| Q2 値段はいかがですか? | 20% | 33% | 57% | 0% | 0% |
| Q3 サイズはいかがですか? | 20% | 33% | 57% | 0% | 0% |
| Q4 買った決め手は何ですか? | おいしそう・好きだから・勧められた | はい0人 | いいえ 4人 | | |

アンケート結果は十二月四日若松合同庁舎で報告会が行われた
十月二十五、二十六日実施された



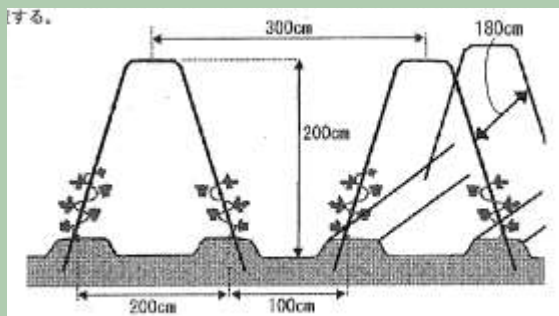
13人が地域資源の活用を探るため、会津の事業者から物産を集め、取り組んだものです。

菓子皿と椀が紹介

あいづふるさと市町村圏協議会発行の「会津ものづくりマガジン」2012 冬号に戸赤木地工房小椋一さんの作品が掲載されました。(写真右)



(花豆の学習[No.26]) 花豆 (ベニバナインゲン) の栽培 5 定植
(1) 施肥 堆肥を 10a 当たり 1t トン以上施す。施肥量は基肥として窒素、カリを各 6kg、リン酸を 13kg 程度畦施用する。花豆は多肥すると過繁茂となり、結実が悪くなるので注意する。例：10a (畦施用) 当たり野菜配合 60kg、BMヨウリン(粒) 40kg (2) 畦づくり・支柱立て 右上図のように畦をつくりインゲンやキュウリの栽培に用いるネットパイプを設置する。(3) 定植 5月下旬の晩霜明け後に株間 90cm で苗を定植する。ネットの内側に定植するとツルがネットに引っかかりやすい。10a 当たり 740 本。【直播】5月下旬の晩霜明け後に株間 90cm で 1 穴 1 粒播きにする。マルチ栽培では、芽がマルチの中へもぐりこんでしまうことがあるので、出芽期には朝早く見回って穴へ導く。(マルチに突き当たった芽は高温で枯死する。)



(南会津農林事務所農業振興普及部資料から) つづく